

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2015年9月 相談集計報告

○全体の特徴

■前年同月に比べ、女性からの相談が46件、2.6ポイント増加した。これは、連合本部が9月17日に1日限定の労働相談キャンペーン「マタハラに負けない!!産休・育休なんでも労働相談」(最終集計36件)を実施したことも要因として考えられる。年代別では、10代、30代、40代、50代からの相談が前年同月に比べ件数、割合ともに増加した。

■雇用形態別では、正社員からの相談が全体の6割弱となっている。業種別では、「医療・福祉」が34件、3.8ポイント増加した。相談内容別では、ここ数ヶ月間は「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が最も多くなっていたが、9月は「解雇・退職強要・契約打切」に関する相談が最も多くなっている。

■具体的な相談内容では、「派遣社員として働いているが、派遣先から『産休・育休を取得するなら次の更新はしない』と言われている」「1年間育休を取ったが保育園に入れず、半年間育休を延長した。その後、職場復帰を申し入れたが、会社から『空気がない』と言って復職を認めてもらえない」など、産休・育休関係に悩む女性からの相談が寄せられた。

		2015年		2014年			
集計対象期間		9月1日～9月30日		9月1日～9月30日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,158		1,191			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	606	53.7%	男性	613	56.3%	
	女性	522	46.3%	女性	476	43.7%	
年代 (不明除く)	10代	10	1.1%	10代	7	0.8%	
	20代	106	12.0%	20代	133	15.6%	
	30代	212	23.9%	30代	183	21.5%	
	40代	272	30.7%	40代	251	29.5%	
	50代	197	22.2%	50代	182	21.4%	
	60代	81	9.1%	60代	84	9.9%	
	70代	9	1.0%	70代	12	1.4%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	581	53.6%	正社員	510	49.7%	
	パート	162	14.9%	パート	172	16.8%	
	アルバイト	74	6.8%	アルバイト	68	6.6%	
	派遣社員	71	6.5%	派遣社員	64	6.2%	
	契約社員	97	8.9%	契約社員	109	10.6%	
	嘱託社員	12	1.1%	嘱託社員	12	1.2%	
	臨時・非常勤職員	6	0.6%	臨時・非常勤職員	6	0.6%	
	その他	81	7.5%	その他	85	8.3%	
業種(上位) (不明除く)	1位	製造業	141	17.3%	サービス業(他に分類されないもの)	154	19.3%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	138	16.9%	製造業	131	16.4%
	3位	医療・福祉	135	16.5%	卸売・小売業	115	14.4%
	4位	卸売・小売業	114	14.0%	医療・福祉	101	12.7%
	5位	運輸業	69	8.5%	運輸業	81	10.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	解雇・退職強要・契約打切	151	13.0%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	147	12.4%
	2位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	143	12.4%	解雇・退職強要・契約打切	131	11.1%
	3位	雇用契約・就業規則	94	8.1%	退職金・退職手続	97	8.2%
	4位	退職金・退職手続	90	7.8%	雇用契約・就業規則	84	7.1%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	69	6.0%	賃金未払い	74	6.2%
	5位				不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	74	6.2%